

聖書の時代の貨幣 (3)

コドラント青銅貨(ローマ貨幣)



アウグストゥス帝時代のコドラント

コドラント青銅貨(クウアドランス)は、古代ローマの少額貨幣で、前回紹介したアサリオン青銅貨(アス)の4分の1の価値があります(クウアドランスは英語の“quarter”のことで「4分の1」の意味)。デナリやアサリオンなどの貨幣には、皇帝の肖像が使われることが多かったのですが、コドラントはもともと価値の低い貨幣

だったこともあり、皇帝の肖像が使われることは、ほとんどなかったそうです。1コドラントは64分の1デナリにあたりますので、1デナリを1万円とすると、1コドラントは約156円になります。ちなみに、当時のローマ帝国における公衆浴場(テルマエ)の入浴料が1コドラントでした。銭湯1回156円。聖書の世界が少し身近に感じられます(笑)。

関係する聖書のことば

マタイの福音書5章25〜26節にこのように記されています。

あなたを訴える人とは、一緒に行く途中で早く和解しなさい。そうでないと、訴える人はあなたを

裁判官に引き渡し、裁判官は下役に引き渡し、あなたは牢に投げ込まれることになります。まことに、あなたに言います。最後の**コドラント**を支払うまで、そこから決して出ることはできません。

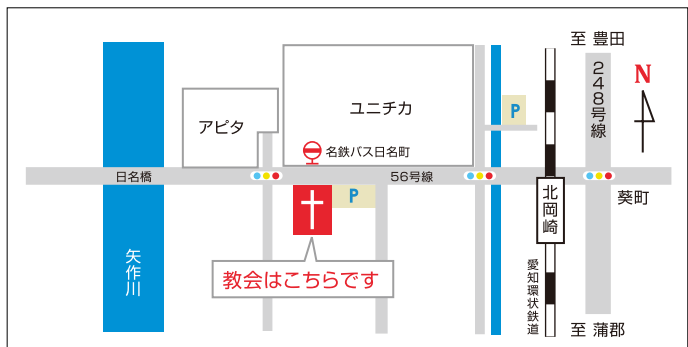
キリストは相手と和解することの大切さを教えておられます。当時のイスラエルでは、有罪判決を受けると、債務者は罰金を全額支払うまで牢屋に入れられました。わずかに1コドラントでさえも、見逃されることはなかったのです。この教えは、神のさばきに向かう人間の姿を示すものです。キリストは「罪を悔い改めて、神と和解せよ」と言っておられるのです。



BIBLE + MESSAGE

正しい人のためであっても、死ぬ人はほとんどいません。善良な人のためなら、進んで死ぬ人がいるかもしれません。しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。(ローマ人への手紙 5章 7〜8節)

上記の聖書のことばは、「神の愛」と「人間の愛」の明確な違いを教えてください。誰かのために自分の命を犠牲にすることほど、大きな愛はありません。善良な人のため、あるいは自分の子どものためならば、死んでも良いという人がいるかもしれません。しかし、神の御子であられるキリストは、罪人のために死んでくださったのです。想像してみてください。世の中には嫌悪感を覚えずにはいられないような犯罪を犯す人がいます。そのような人を助けるために、あなたは死ぬことができますでしょうか。私は絶対にできません。ところがキリストは、罪人のために身代わりとなって、十字架の上で死んでくださったのです。ここに偉大な神の愛があらわされています。では、罪人とは誰のことでしょうか。それは「私たち」、すべての人間が罪人だと聖書は教えているのです。



- ◆名鉄バス「日名町」前
- ◆愛知環状鉄道「北岡崎駅」から西へ徒歩3分
- ◆アビタ岡崎北店 筋向かい



スマホで上記のQRコードを読み込むと地図を表示できます。

【主日礼拝】日曜 ①11:00〜12:15 ②14:00〜15:15
【祈り会】木曜 19:30〜20:45